

平成 28 年度事務事業評価表(公共事業・継続)

No. 426

事務事業名	皆同町立体交差点冠水対策事業	
基本目標	030301	安全・安心なまち
政策		交通安全と消費者保護の推進
施策		交通安全の推進
関連施策		

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	都市整備部		
課名	道路課		
課長名	森 幸則	内線	427
担当者名	宗塚 直人	内線	428

事業類型	7	施設等整備事業(負担金含む)
個別計画		
重点事業		

会計	一般会計		
款	8	土木費	
項	2	道路橋りょう費	
目	3	道路新設改良費	
事業コード	020600	冠水対策事業	

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	皆同町立体交差点の利用者		
意図 対象をどのような状態にしたいか	皆同町立体交差点を豪雨時にも冠水しにくくし、安全性の向上を図る。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	現在のポンプ設備は、能力が不足しており豪雨時に冠水が発生しているため、ポンプを増設し豪雨による冠水発生を減少を図る。		
事業期間	平成 25 年度 ~ 平成 28 年度	実施方法	直営

成果指標名	ポンプ設備排水能力				算定式等
着手前現状値	平成 25 年度	単位	m3/秒	0.20	
完了後計画値	平成 28 年度			0.53	

【DO(実施)】

事業実施項目	25年度まで	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
基本計画	実績・計画額							
	項目別進捗率							
実施設計	実績・計画額	27,200						27,200
	項目別進捗率	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	
用地・補償	実績・計画額		9,223					9,223
	項目別進捗率	0.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	
建設工事	実績・計画額			295,572	11,800			307,372
	項目別進捗率	0.00%	0.00%	96.16%	100.00%	100.00%	100.00%	
事務費等	実績・計画額		527	11,284	590			12,401
	項目別進捗率	0.00%	4.25%	95.24%	100.00%	100.00%	100.00%	
合計	実績・計画額	27,200	9,750	306,856	12,390	0	0	356,196
	項目別進捗率	7.64%	10.37%	96.52%	100.00%	100.00%	100.00%	

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	27,200	30,723	306,856	12,390	0	0	0	0
国庫支出金	14,960	16,603	162,564	6,490				
県支出金								
地方債	11,040	12,800	133,300	5,300				
その他								
一般財源	1,200	1,320	10,992	600				
② 人件費(千円)	1,000	2,529	3,293	3,462	事業内容	事業内容	事業内容	B/C
職員人数(人)	0.12	0.31	0.39	0.41				
時間外勤務(時間)	23	93	271	240				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	28,200	33,252	310,149	15,852				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	平成27年度繰越で機械・電気設備工事を完了。平成28年度は、場内整備工事を発注済み。
事業が抱える問題・課題等	既存ポンプ施設の能力不足により、毎年1~2回の冠水が発生している。また、同箇所は福重小学校と郡中学校の幹線通学路であり、通学路の安全確保が急務となっている。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	事業箇所は国道34号皆同交差点から福重出張所や福重小学校等を結ぶ福重地区の幹線市道であり、冠水が発生した場合には地域住民の生活の生活活動に大きく影響を与えている。また、通行車両の水没等による人的被害が危惧されている。						
有効性	【緊急性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	皆同立体交差点は、福重小学校や郡中学校の通学路であり、通行する児童も多く、学校関係者や地元関係者等からも、早期の冠水対策が望まれている。						
効率性	【施策成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	通行車両や歩行者の安全性の向上を図る事業であり、施策貢献度は高い。						
負担割合	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり	該当なし		
	早急な改善が求められており、平成25年度に実施設計を行うこととしているが、コスト削減のため、経済性を考慮しつつ効果的なポンプ設備増強案を検討する。						
見直し	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
	利用者は当該立体交差点を通行する一般市民であり、見直しの余地はない。						

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	終了	
--------	----	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	平成28年度をもって、事業完了
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	終了		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。